

### 支援制度活用セミナーを開催しました

平成 28 年 3 月 25 日、エネ研において、「支援制度活用セミナー」を開催しました。

このセミナーは、エネ研がエネルギー研究開発拠点化計画で実施している新技術・新製品開発支援制度等やエネ研が持つ研究シーズについて知っていただき、新たな技術や商品開発に活用いただくことを目的に開催したもので、県内企業などから、約 40 名の方が参加されました。

セミナーでは、エネ研研究員から企業に活用いただける研究シーズや科学機器等の紹介を行ったほか、共同研究の成果として福井シード(株)より「イオンビームによるミディトマトの新品種開発」の報告をいただきました。

また、エネ研の技術相談、保有特許の紹介や支援制度の紹介と合わせ、活用事例として「LED照明を用いた新育苗設備の研究(株)木田屋商店」、「乳酸菌を用いたあま酒の開発(兵助(株))」の報告が行われ、参加者から多数の質問と、活発な意見交換が行われました。

セミナー終了後、エネ研の施設見学も行い、研究員から加速器や透過型電子顕微鏡などの科学機器の機能や活用事例などについて説明しました。

<p><b>福井シード(株)</b> 「イオンビームによるミディトマトの新品種開発」</p> <p>イオンビームを照射し、受粉や着果促進剤処理が不要な個体を選抜</p>  <p>育種課 大野氏</p>	<p><b>木田屋商店</b> 「LED照明を用いた新育苗設備の研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密植栽培に適した波長LEDの選定</li> <li>・カルシウム不足による生理障害の抑制</li> <li>・栽培期間の短縮</li> </ul>  <p>栽培技術部門 島田氏</p>	<p><b>兵助(株)</b> 「乳酸菌を用いたあま酒の開発」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な温度管理や充填の省力化に向けた新装置の導入</li> <li>・こうじ臭を軽減した飲みやすいあま酒の開発</li> </ul>  <p>代表取締役社長 村松氏</p>
---	---	---

### 福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会の開催

平成 28 年 3 月 16 日に、第 5 回福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会を開催しました。当協議会は、福井県が国際的な原子力人材育成の拠点として、アジアをはじめとする世界の原子力の安全技術向上に貢献するため、福井県国際原子力人材育成センターの人材育成事業の充実に向け、関係機関と意見交換を行うものです。会合では、人材育成センターや県内大学などが、平成 27 年度に実施した原子力人材育成の取組状況を報告しました。また、文部科学省および外務省から、今後の原子力人材育成の方向性のご紹介を受けたのち、人材育成センターの今後の取組みについて協議しました。

顧問や委員からは、人材育成の更なる充実に向け、「今後、放射線利用など、原子力発電分野以外にも研修範囲を広げてはどうか」、「PA 活動や地域振興などについても深く理解できる研修にすると良い」、「受講生のフォローアップが大切である」、「研修での討論会は有用であり、これを充実することも検討してはどうか」などの意見がありました。

こうした意見を踏まえ、エネ研では、各機関と協力・連携しながら、国内外の原子力人材育成事業の更なる充実に向け、取り組んでいきます。



開会挨拶の様子

## 災害対応ロボット技術開発研究会の開催

福井県では「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、原子力災害等に対応する国産のロボット技術を向上するため、産学官によるロボット開発を推進することとしています。

平成28年3月22日、エネ研および福井県は、「災害対応ロボット技術開発研究会」を設立しました。この研究会は、ふくいオープンイノベーション推進機構の枠組みの中で、県内外の企業、大学および行政が一体となって、県内技術を活用したロボットの研究開発や県内企業等のロボット関連産業への参入支援を行うために設立したものです。また同日、福井県中小企業産業大学校において、21の県内企業・団体から計23名が参加し、「第1回災害対応ロボット技術開発研究会」を開催しました。

研究会では、千葉大学・野波特別教授よりドローンの基本構造や航空法改正、電波法改正案についての講義と、県から「災害調査用ドローンの開発に向けた検討」と題して、福井県における研究開発の方向性について説明が行われた後、会員間の意見交換を行いました。

今後も研究会を開催する予定であり、会員募集も継続して行っていますので、詳細については、エネ研・産業育成部(☎ 0770-24-7276)までお問合せください。

### 【研究会の活動内容】

- ・災害対応ロボット開発に関する調査、研究
- ・災害対応ロボットの利活用に関する調査、情報収集、連携
- ・会員企業の発展およびロボット関連産業参入のための調査、情報収集、発信



千葉大学 野波特別教授による講義



災害調査用ドローン (イメージ)

## エネ研・新メンバー紹介

平成28年4月1日付の人事異動により、新メンバーが加入しました。

4月1日に(公財)若狭湾エネルギー研究センターの専務理事に着任しました。県の「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、基本理念である「安全・安心の確保」、「研究開発機能の強化」、「人材の育成・交流」、「産業の創出・育成」の着実な推進に取り組むとともに、「嶺南地域における新産業の創出」・「強固な安全対策の具体化」などを充実、強化してまいります。

平成28年度は、当法人の機能強化の一環として、特に研究開発の分野では、レーザー研究開発の強化、加速器による生物、医療分野の研究、理化学研究所との連携強化に重点的に取り組むこととしておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

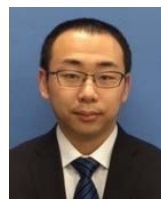


専務理事  
いせしんぞう  
伊勢信三



技術活用コーディネータ  
しまづ ただし  
嶋津 正

民間企業で新製品を開発した経験を活かし、幅広いエネ研技術の実用化推進に寄与していきます。



研究開発部レーザー技術開発室研究員  
つづき さとし  
都築 聡

大学ではレーザーを利用した分析等をしていました。エネ研ではレーザー除染の研究推進に力を注いでいきます。

